

1/13 高井さんが花時計賞を受賞



▲花時計賞を受賞した高井智弘さん

加西消防署加西北出張所勤務の高井智弘さんが神戸市長表彰「花時計賞」を受賞しました。高井さんは、神戸市内のショッピングモールで胸痛を訴えて心肺停止で倒れていた男性を発見し、心肺蘇生およびAEDによる救護活動を行い、男性の命を助けました。「表彰を励みに、今後も救急救命士として多くの市民の命を救えるよう尽力したいです」と話されました。

1/17 ふるさと再発見ハイキング



▲高松山から北条の町並みを見下ろす参加者

歴史街道ボランティアガイド主催のふるさと再発見ハイキングが行われ、北条町栗田の高松山ふれあいの森を散策しました。参加者34人は北条町駅から熊野神社を経て、栗田区役員の方々の先導により高松山へ。山頂からは北条の町並みを見下ろし、下山後は楽法寺と横尾街道を散策。ほのぼのとした心地よいひと時を過ごしました。

1/29 はッピーバス運行10周年感謝状を贈呈



▲左から河尻副市長、増田正幸さん、上坂基一さん、土井勉さん

平成23年2月から西在田を中心に、通院や買い物など地域の足を守るために運行を開始したはッピーバスが今年で10年目を迎えました。そこで、利用者を増やすための営業やバス停の管理を行っていただいているNPO法人原始人の会と、運行事業者である加西親栄自動車(有)に、河尻副市長より感謝状とバスのフロントに掲示する広報用フラッグの贈呈を行いました。

2/1 西高室土地区画整理組合 市へ寄付金を贈呈



▲高橋理事長（左）と西村市長

加西市西高室土地区画整理組合が8年にわたる「西高室土地区画整理事業」を完了し、高橋理事長より市長へ事業完了が報告されました。併せて、加西市へ約900万円の寄付金が贈呈されました。高橋理事長は「事業が無事に終わり、若い世代の新しい家が次々と建っている。寄付金はまちづくりに役立てて欲しい」と話されました。

タウンピックアップ

広告

広告

2/4 北条小 卒業記念のミニ羅漢 窯出し



①

北条小学校6年生59名が、もみや木ぎれを使って、昔ながらの手法「野焼き」で焼き上げたミニ羅漢約200体を窯出ししました。児童たちが校内の学習園に直径約1.8m、深さ約40cmに掘って作った窯で1月28日から焼いたものです。

児童たちは、熱くなった窯から灰をよけながら作品を取り出しました。温度によって焼き色も様々な色合いになります。

北条野芭さんは「3体作ったが焼いている間に割れていた。焼き色が部位によって違うのでおもしろい」と話しました。



②



③



④

◀①焼き上がった作品を眺める児童たち②窯から取り出す様子③灰から作品の破片を選別④焼き上がったミニ羅漢

2/12 富合小 大縄跳び八の字にチャレンジ



▲大縄跳びの八の字にチャレンジする児童ら

富合小学校で全校生163名が10班に分かれて大縄跳びの八の字にチャレンジしました。1年生から6年生まで交流を深めるために実施している活動であり、各班で目標回数を決めて記録に挑戦しました。どの班も大きな声で回数を数えて一生懸命に跳んでいました。藤田弥侑さん(6年)は「初めは跳べなかった1年生も班で協力して跳べるようになりました」と話しました。

2/13 少年野球 6年生最後のお別れ大会



▲体を張ったクロスプレーも飛び出す

伊東電機グラウンドにおいて、6年生の最後を飾るお別れ大会が開催されました。市内5チームが参加し、力強いバッティングや懸命にボールを追いかける思い切ったプレーで試合を湧かせました。また、観客席はひとつひとつのプレーに一喜一憂し、最後の試合にふさわしい盛り上がりを見せました。試合後は6年生全員にメダルが贈られました。

まちの出来事

広告

広告